



六郷中だより

六郷中学校だより第11号

令和7年11月10日

<六中HP>



発行・文責：校長 渡邊 賢

11月に入り、1週間が経ちました。前回の学校だよりで伝えたように、11月授業日数は17日、残すところ13日です。現在、1・2年生は生徒会選挙に向けての活動、3年生は今週実施の教達研に向けて毎日勉強に励んでいることでしょう。

また今月後半には3年生は三者懇談、今月末には2学期末テストが予定されています。13日から期末テスト取組表が配布されます。一人一人目標をもって試験勉強に取り組めるよう、毎日を大切に過ごしましょう。いつものことですが、睡眠時間を十分にとって、寒くならない工夫をしてください。

思春期体験学習を通して

10月23日の事前学習をスタートに、11月5日の赤ちゃんふれあい体験まで合計6時間の学習を実施しました。

事前学習では、町の子育て支援課の保健師さん、助産師さんから町で暮らす赤ちゃんやお年寄りの話、生命の始まりから誕生までの話、子育てで大切な話を伺いました。

3年生は、赤ちゃんのことや赤ちゃんを育てるにあたって必要なことなどに興味や関心をもち、終始真剣な眼差しで話を聞き、貴重な体験ができました。命の大切さや家族の大切さ、これから自分自身がどのように生活していくかなどを考える良い機会になりました。

子育て支援課の皆さんや赤ちゃん抱っこ体験に参加していただいた方々に心より感謝します。

職場体験学習から



みさと学（ふるさとキャリア教育）での職場体験が、R5年度よりスタートしました。今年度も町内4校の中学2年生が、5・6日で事業所のお力添えを頂き、職場体験学習を行いました。

この学習の目的は、「職場を訪問し、働く人の姿を見聞きたり、仕事を体験したりすることで、『仕事とは何か、働くとはどういうことなのか、将来職業に就く上で大切なことは何か』を学ぶ機会とする」というものです。

10月14日には事前学習として、キャリアコンサルティング技能士の方から、職場における基本的なコミュニケーションや人との接し方、話し方などのマナーについて学び、職場体験に活かしました。

「お客さんのことを第一に考えること」「周りの人のために働いている」「仕事に責任をもつ」「相手のことを考えて、その人の立場に立つ」など、素晴らしい体験後の感想がありました。今回の経験をこれからの生活に活かしていきましょう。